広告

◎石狩随想 72

新年度

3月中旬の日曜、2日続きの猛吹雪で、傍らの携帯電話に届いたメールは停電と国道閉鎖を伝えてきた。今冬最後の冬嵐であって欲しいと願いつつ、原稿に向かっている。あと2週間もすると三月尽（やよいじん）、翌日から卯月（うづき）朔日（ついたち）、「新」のつくものばかりとなる。私たちにとって、4月1日は正月と同じく変わり目の初日として、特別な意味をもっている ▼明治新政府は、会計などは年の初めの方がよかろうと江戸幕府同様、1月としていたが、師走から正月は多忙で不都合なことが多い、2月は逃げる月とも言う、やはり季節の変わり目がいいと4月に落ち着いた。小学校の入学も同じく現在に至っている ▼昨今、大学のグローバル化などにより、秋入学へとシフトした大学もあるが、わが国は大概のものは4月をもって転じている。陽も、漂う空気感も違いを感じる季節への感性を持つＤＮＡがそうさせたのであろう。我が国のように2つの「年」をもつ国は多数派とは思えない。ましてや元号までもとなると。吹雪の吠えるような風音を耳にしながら、春待つ想（おも）いを拙文にしてみた。アベノミクスがエイプリルフールとならぬことを念じつつ。（市長）

まちの情報はインターネットテレビでもぜひチェックしてください！ ERIS えりすいしかりネットテレビ http://www.i-eris.tv/

■編集・発行／石狩市企画経済部市長政策室秘書広報課 〒061-3292 北海道石狩市花川北6条1丁目30番地2 Tel.0133-72-3145 Fax.0133-74-5581 ■制作／株式会社キューブコーポレーション ■印刷・製本／株式会社アイワード
【ホームページ】http://www.city.ishikari.hokkaido.jp/ 【携帯電話用HP】http://www.city.ishikari.hokkaido.jp/k/ 【Eメール】hisyokoho@city.ishikari.hokkaido.jp
この広報紙は再生紙を使用しています。また、印刷インキは、大豆を利用した植物油インキを使用しています。